

災害に
備える
ために

新潟市の防災対策

災害は
いつ起きるか
わかりません

災害から自分や家族の命を守るために、普段から防災情報を収集し、防災訓練などに積極的に参加しましょう。また、災害が起きると冷静な判断ができず、適切な行動が難しくなります。災害が起きたときの行動を具体的にイメージすること、家族や職場の同僚との話し合い、物の備えなど、日ごろの準備が自分や周りの人を守ることにつながります。

次のテーマについて確認してみましょう。

① 災害リスクや避難場所の確認

ハザードマップ
避難する時のこと

② 家庭での備蓄対策

食品・生活用品
非常持ち出し品

③ 情報の収集

情報を入手
できる媒体一覧

④ 津波注意報などが発表された際の避難

津波発生時の
避難の注意点

① 災害リスクや避難場所の確認

問い合わせ:防災課、各区総務課・地域総務課



新潟市防災マスコット
ジージョ・キョージョ

ご自宅や職場の近くの災害リスク、避難場所、避難経路などをあらかじめ確認しておくと、災害発生時に円滑に避難行動に移ることができるようになります。
災害発生時の危険箇所をハザードマップで確認してみましょう。

◎ハザードマップで自宅の災害リスクを確認しましょう

●総合ハザードマップ

洪水・土砂災害・津波・浸水・ため池の各種ハザードマップを中学校区ごとにまとめたものです。

- 災害ごとの特徴や脅威を確認しましょう。
- 災害時の避難行動を考えましょう。
- お住まいの地域などの危険箇所や避難場所を確認しましょう。

平成31年春に総合ハザードマップ(中学校区版)の冊子を全世帯配布していますが、洪水ハザードマップや避難所等は変更されている場合がありますので、最新のハザードマップ情報は、ホームページで確認してください。

[新潟市 ハザードマップ](#)

検索

●総合ハザードマップのチェックポイント

- ✓身近な地域に色がついているか確認しましょう。
色がついている地域には、洪水や津波による浸水や土砂災害といった災害リスクが想定されています。
- ✓具体的にどのような災害リスクが想定されているのか確認しましょう。
災害の種類ごとにどれくらいの被害が想定されているのか確認しましょう。
具体的な被害想定の内容はハザードマップ地図面の凡例に記載されています。
- ✓最寄りの避難場所を確認しましょう。



総合ハザードマップに掲載している災害別ハザードマップ

*洪水ハザードマップ

- 洪水は大雨による河川の増水により、堤防が壊れる(破堤)か、川の水が堤防を越える(越水)などして起こります。
- 複数河川の洪水浸水想定区域図を重ね合わせて、浸水域が最も広く、浸水の深さが最も深くなる想定を示したものです。

*土砂災害ハザードマップ

- 新潟県が指定している土砂災害が発生する恐れがある「土砂災害警戒区域」や「土砂災害特別警戒区域」などを示したものです。

*津波ハザードマップ

- 新潟市に襲来が予想される最も影響の大きい6つの津波断層モデルを選定し、津波断層ごとの計算結果を重ね合せ、最も浸水深が深くなり、到達時間が最も早い結果を色分け表示したものです。
- 津波による浸水の深さを示したものと、津波が到達する時間を示したもののが2種類があります。



*浸水ハザードマップ

- 下水道の雨水排水能力を上回る雨が降った場合や河川がはん濁してなくても河川に放流できずに雨水が溢れて発生する浸水を想定し、浸水区域とその深さを示したものです。
- 想定している降雨の規模は、平成10年8月4日に観測された降雨(時間最大97mm)であり、浸水被害をもたらした降雨量です。

*ため池ハザードマップ

- 地震や大雨によって、満水状態のため池が決壊した場合、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

ハザードマップは、新潟市LINE公式アカウントや新潟県防災ナビ、にいがたeマップなどからも確認できます。



新潟市
LINE公式
アカウント



新潟県
防災ナビ
(県ホームページ)



にいがた
eマップ

■総合ハザードマップに掲載している想定されている各災害リスク (中学校区単位)

各災害ごとに被害が想定される地域がある場合には○がついています。

| 区 | 中学校区 | 洪水 | 土砂災害 | 津波 | 浸水 | ため池 |
|----|-------|----|------|----|----|-----|
| 北 | 松浜 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 南浜 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 濁川 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 葛塚 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 木崎 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 岡方 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 早通 | ○ | | ○ | ○ | |
| | 光晴 | ○ | | ○ | ○ | |
| 東 | 山の下 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 木戸 | ○ | | ○ | ○ | |
| | 藤見 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 大形 | ○ | | ○ | ○ | |
| | 下山 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 東新潟 | ○ | | ○ | ○ | |
| | 石山 | ○ | | ○ | ○ | |
| | 東石山 | ○ | | | ○ | |
| 中央 | 関屋 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 鳥屋野 | ○ | | ○ | ○ | |
| | 白新 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 寄居 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 新潟柳都 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 宮浦 | ○ | | ○ | ○ | |
| | 上山 | ○ | | ○ | ○ | |
| | 山潟 | ○ | | ○ | ○ | |
| | (東新潟) | ○ | | ○ | ○ | |
| | | | | | | |
| 江南 | 大江山 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 曾野木 | ○ | | ○ | ○ | |
| | 両川 | ○ | | | ○ | |
| | 横越 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 亀田 | ○ | | | ○ | |
| | 亀田西 | ○ | | ○ | ○ | |
| | (山潟) | ○ | | ○ | ○ | |

| 区 | 中学校区 | 洪水 | 土砂災害 | 津波 | 浸水 | ため池 |
|----|------|----|------|----|----|-----|
| 秋葉 | 新津第一 | ○ | ○ | | ○ | |
| | 新津第二 | ○ | | | ○ | |
| | 新津第五 | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| | 小合 | ○ | | | ○ | |
| | 金津 | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| | 小須戸 | ○ | ○ | | ○ | |
| 南 | 白南 | ○ | | | | |
| | 白根第一 | ○ | | | ○ | |
| | 臼井 | ○ | | | | |
| | 白根北 | ○ | | ○ | ○ | |
| | 味方 | ○ | | ○ | ○ | |
| 西 | 月潟 | ○ | | | ○ | |
| | 坂井輪 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 内野 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 赤塚 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 中野小屋 | ○ | | ○ | ○ | |
| | 小針 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 五十嵐 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 小新 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 黒埼 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | (関屋) | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 西蒲 | 岩室 | ○ | ○ | ○ | | |
| | 西川 | ○ | | ○ | | |
| | 潟東 | ○ | | ○ | | |
| | 中之口 | ○ | | | | |
| | 巻東 | ○ | ○ | | | |
| | 巻西 | ○ | ○ | ○ | | ○ |

◎避難する時のことを考えてみましょう

●一時避難場所と避難所のちがい

避難場所については、災害の危険が切迫した場合に一時的に避難する場所（一時避難場所）と、被災者が一定期間滞在して避難生活を送る場所（避難所）があります。令和6年能登半島地震では、病院へ避難した方もいましたが、新潟市では、一部を除き病院を避難場所や避難所に指定していません。

お近くの避難場所や避難所を日ごろから確認しておきましょう。

| | |
|-----------------------|--|
| 一時避難場所 物資の備蓄はありません | 地震発生直後の緊急時などに一時的に避難する場所です。 津波避難ビル、都市公園など |
| 避難所 | 地震などによる住居の倒壊、焼失などで自宅で生活することが困難な方を受け入れる施設です。 市立小中学校、市立高等学校、県立高等学校など |

備考:災害の状況によっては上記以外の施設であっても、避難場所とすることがあります。

◆避難所開設基準

地震の際、震度6弱以上を観測した場合、区単位で一斉に避難所を開設します。また震度5弱以上の地震を観測した場合についても、被害状況や避難者の状況を確認し、必要に応じて速やかに避難所を開設できる体制をとります。

●津波避難ビル・津波避難場所

新潟市では、津波被害から市民の生命を守るために、下記要件を満たす津波浸水想定区域内や近接する地域にある施設を津波避難ビル・津波避難場所に指定しています。なお、民間施設とは「津波時における津波避難ビル（場所）としての使用に関する協定」を締結しています。

◆津波避難ビル指定要件

- 耐震診断によって耐震安全性が確認されていること。または、新耐震設計基準(昭和56年(1981年)施行)に適合していること。
- 鉄筋コンクリート造(R C)または鉄骨鉄筋コンクリート造(S R C)を原則とする。
- 想定される津波浸水深に対して十分な高さが確保されていること。

津波避難ビル、津波避難場所の利用期間は、新潟県上中下越に津波注意報、津波警報または大津波警報が発表された時点から、津波注意報等解除により津波のおそれがなくなった時までです。

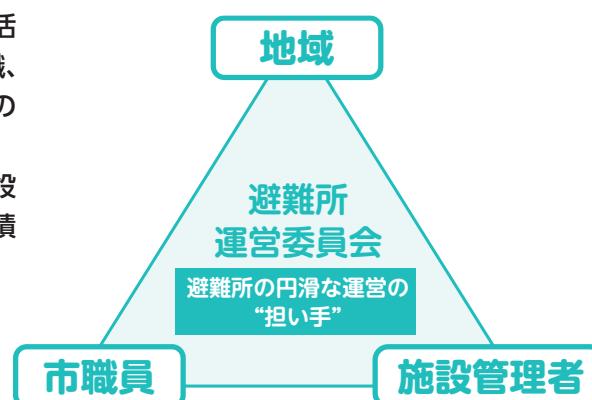
●避難所の運営

避難所は、避難者自身の居住空間であり当該地域の住民等が生活を共にする場であることから、地域(自治会・町内会、自主防災組織、コミュニティ協議会等)が主体となり、避難者、市職員、施設管理者の協力のもと、開設・運営します。

特に発災直後は、避難所運営委員などの地域の役員や市職員、施設管理者の参集が遅れることも想定されることから、避難者からも積極的な協力をお願いします。

避難所運営委員会とは

災害時に避難所運営の主体となり、避難所における生活ルールの決定や、住民の意見などの取りまとめを行う組織



避難場所や避難所には、
このような看板が
設置されています



●災害時のペット同行避難

災害時のペットの安全確保や飼養については自分で行うことが基本となります。新潟市では、一部の避難所で同行避難(ペットと一緒に避難所へ避難できますが、同じ部屋で過ごせません)が可能です。

平常時から、ケージやエサなどの災害に備えたペット用備蓄品の確保や避難ルートの確認等ペットの同行避難に必要なしつけや健康管理を行いましょう。



●車中泊避難

発災後の避難生活先として、在宅避難、親戚や知人宅への避難、避難所等への避難がありますが、その他に「車中泊避難」という方法があります。車中泊避難とはその名の通り、避難生活を車内で行うことです。

車中泊避難は、同じ姿勢をとり続けることによるエコノミークラス症候群の危険性が指摘されていることなどから、長期の避難生活には適さず、一般的には推奨されない避難方法となっています。

やむを得ず、車中泊避難を選択する場合には注意点等を参考に事前に対策を確認しておきましょう。



◆車中泊避難時の注意点

- エコノミークラス症候群への対策
- 暑さ、寒さの対策
- 一酸化炭素中毒への対策

●災害時の避難行動等の基本的な流れ

災害の発生 (発生の恐れ)

地震

津波

洪水

土砂災害

- まずは最優先に自分の命を守る
- 揺れがおさまってから、あわてずに行動する

- 浸水想定区域(ハザードマップを参照)の外側へ避難する
- 近隣のより安全な場所へ避難する
- 今いる建物の上階に移動するなど、より安全な場所に避難する

- 「土砂災害特別警戒区域」(ハザードマップを参照)等では、土砂災害が発生するおそれがあるので、市から避難情報が発表されたときには直ちに避難する

避難行動 切迫した危険から身を守るために安全な場所へ避難する

- ①災害時には、身が守ることができれば、必ずしも避難所に行く必要はありません。
- ②丈夫なマンションなどにお住いの方は、津波や洪水時に、浸水が及ばない階にとどまり、安全を確保することも有効な避難です。

災害の危険がなくなった後

自宅で生活できる場合

避難生活

自宅へ

倒壊や浸水などにより
自宅で生活できない場合

一定期間、避難所での避難生活

②家庭での備蓄対策

問い合わせ:防災課、各区総務課・地域総務課

公的な備蓄には限りがあります。最低3日分(可能であれば1週間分)は自分で備えておきましょう。

普段から消費している食品や生活用品を少し多めに用意し、消費した分を隨時補充する「ローリングストック法」をお勧めします。以下の例を参考に、自分の家族構成や生活スタイル、健康状態などに合わせて必要なものを用意しましょう。

食品(例)

※加熱不要なものがあると役に立ちます

- 主食(レトルトご飯、麺など)
- 缶詰
- レトルト食品
- 飲料(水(1人1日3リットルが目安)、野菜ジュースなど)

生活用品(例)

- 常備薬
- 救急箱
- 生理用品
- 懐中電灯
- 乾電池
- ごみ袋
- ラジオ
- 携帯トイレ
- カセットコンロ・ガスボンベ
- モバイルバッテリー
- ティッシュペーパー
- ウェットティッシュ

避難先に十分な物資があるとは限りません。

避難した際に最小限必要なものをリュックに入れた「非常持ち出し品」を準備し、玄関の近くや寝室など、すぐに対応できる場所に備えておきましょう。



非常持ち出し品の例

- ごみ袋
- 衣類、おむつ
- 懐中電灯、携帯ラジオ、電池
- 水、食料、薬、お薬手帳、救急セット、生活用品
- 携帯電話、モバイルバッテリー
- 身分証明書、現金 など

③情報の収集

問い合わせ:危機対策課

災害時に適切な行動をとるためには、正しい情報を集めることが重要です。
複数の情報収集手段を事前に確保しておきましょう。



◎情報を入手できる媒体一覧

新潟市では、防災情報を複数のツールで発信しています。

あなたとご家族の安全を守るために、各種発信ツールにご登録ください。

にいがた防災メール

登録いただいたメールアドレスに防災情報を配信します。

右の二次元コードより登録手順を確認してください。



新潟市LINE公式アカウント

LINEを利用して、防災情報のほか、さまざまな情報も配信します。

右の二次元コードより「友だち追加」をして情報が欲しい区の防災情報を選択してください。



新潟市危機管理防災局 X

Xを利用して防災情報を配信します。
右の二次元コードより「フォロー」してください。



Yahoo! 防災速報アプリ

防災アプリを利用して新潟市の防災情報を配信します。

右の二次元コードよりアプリをダウンロードし「新潟市」を登録してください。



新潟市ホームページ

市ホームページ内「防災・災害」を利用して緊急情報を表示します。

右の二次元コードまたはインターネット検索から緊急情報を確認できます。

防災災害 新潟 検索



新潟県防災ナビ

お近くの避難情報や、災害ごとのハザードマップを確認できる新潟県公式アプリです。

右の二次元コードより新潟県ホームページへお進みください。



その他の情報入手手段

防災行政無線(固定系)

屋外に設置されている子局のスピーカーからサイレンや音声により、緊急情報や避難情報などをお知らせします。

テレビデータ放送

テレビのデータ放送を通じて情報を届けます。ご利用の際はリモコンの「d」ボタンを押してください。

緊急速報メール(エリアメール)

災害時などの緊急時において、各携帯電話事業者のネットワークを介して、新潟市内の基地局エリアに存在する対応携帯電話に一斉配信するサービスです。新潟市にお住まいの方はもちろん、一時的にエリア内にいる市外からの通勤者、旅行中の方などへも情報提供されます。

新潟市ホームページ 掲載情報

次の二次元コードから各種情報をることができます。



避難所・避難場所一覧(区ごと)



津波避難ビル・津波避難場所



災害時の避難について



人とペットの災害対策



災害備蓄について



災害時の車中泊避難について

④津波注意報などが発表された際の避難

問い合わせ:防災課、危機対策課

新潟市では、新潟県上中下越に津波注意報、津波警報、大津波警報が発表された際には、避難指示を発令します。避難指示の内容及び対象は下記のとおりとなります。日ごろからハザードマップで、**身近な地域に色がついているか、具体的にどのような災害リスクが想定されているのかを確認するとともに、どこに避難するか**考えておきましょう。



◎津波発生時の避難の注意点

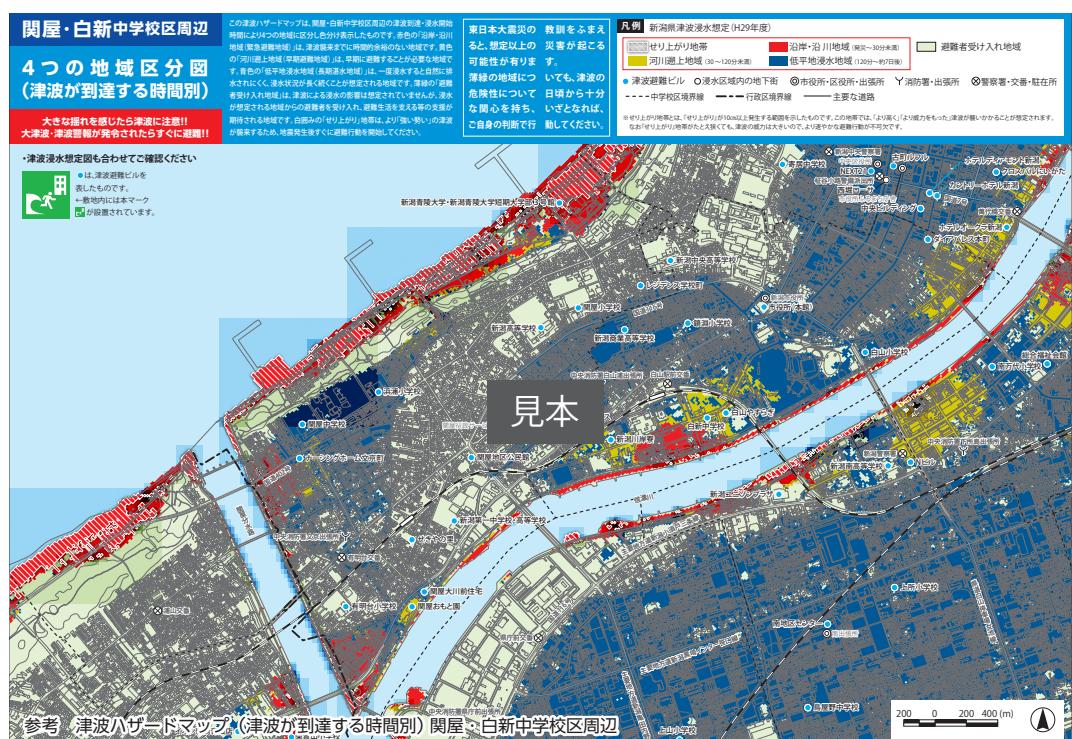
避難は原則徒歩でお願いします

地震・津波発生時には、家屋の倒壊、落下物、道路の損傷、渋滞や交通事故などが発生し、被災する可能性が高まることから、原則徒歩で避難しましょう。

津波からの避難は、特に緊急を要することから、津波避難ビル等の一時避難場所では、避難した住民自ら安全を確保する必要があります。(津波避難ビル等の一時避難場所に市職員は来ません)

まずは、速やかに「より高いところ」に避難することが大切であり、生命・身体の安全を確保することが最優先となりますが、「より高いところ」に移動し、その場にいる避難者の安全が確認できた後は、警報等が解除されるまで避難者同士で協力して情報を収集しましょう。

また、津波避難ビルには備蓄物資はありませんので、避難時には可能な限り非常用持ち出し品を持参しましょう。



■津波避難指示の対象と内容

| 注意報・警報 | 津波注意報 | 津波警報 | 大津波警報 |
|------------|--|---|--|
| 避難指示 対象 | 海にいる人 | 津波ハザードマップでの表示区域(津波が到達する時間別) | |
| | | 沿岸・沿川地域 発災～30分未満 河川遡上地域 30分～120分未満 | 沿岸・沿川地域 発災～30分未満 河川遡上地域 30分～120分未満 低平地浸水地域 120分～約7日後 |
| 避難指示 内容 | 海水浴、釣りをしている人など、海にいる人は、ただちに海から上がって海岸から離れてください。今後の情報に十分注意してください。 | ただちに海岸や河川から離れ、近くの高台や高い建物(津波避難ビル)など、できるだけ高い場所にすぐに避難してください。 | |



東日本大震災の教訓をふまえると、想定以上の災害が起こる可能性があります。

津波ハザードマップで白地(浸水が想定されない地域)又は薄緑(津波が到達する時間別地域区分図では避難者受け入れ地域として表示)の地域であっても、津波の危険性について日ごろから十分な関心を持ち、いざとなれば、ご自身の判断で行動してください。

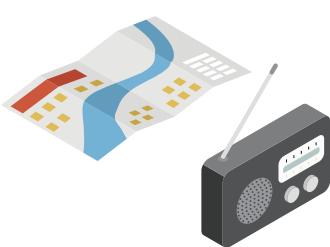
■津波避難指示対象エリア(小学校区単位)

※南区及び秋葉区は津波避難の対象ではありません。

記載されている小学校区の全エリアが避難指示の対象ではないため、町名単位での対象地域は下記の二次元コードからご確認ください。

| 区 | 小学校区 | 津波警報 | 大津波警報 |
|---|------|------|-------|
| 北 | 松浜 | ○ | ○ |
| | 南浜 | ○ | ○ |
| | 太夫浜 | ○ | ○ |
| | 濁川 | ○ | ○ |
| | 葛塚 | | ○ |
| | 葛塚東 | ○ | ○ |
| | 木崎 | ○ | ○ |
| | 早通南 | | |
| | 岡方第一 | | |
| | 岡方第二 | | |
| 東 | 山の下 | ○ | ○ |
| | 大形 | ○ | ○ |
| | 中野山 | | ○ |
| | 木戸 | ○ | ○ |
| | 東山の下 | ○ | ○ |
| | 桃山 | ○ | ○ |
| | 下山 | ○ | ○ |
| | 牡丹山 | | ○ |
| | 東中野山 | | |
| | 竹尾 | | ○ |
| | 南中野山 | | |
| | 江南 | | ○ |
| | (沼垂) | ○ | ○ |

| 区 | 小学校区 | 津波警報 | 大津波警報 |
|----|--------|------|-------|
| 中央 | 浜浦 | ○ | ○ |
| | 関屋 | ○ | ○ |
| | 鏡淵 | ○ | ○ |
| | 白山 | ○ | ○ |
| | 新潟 | ○ | ○ |
| | 日和山 | ○ | ○ |
| | 万代長嶺 | ○ | ○ |
| | 沼垂 | ○ | ○ |
| | 山潟 | | ○ |
| | 上所 | ○ | ○ |
| 江南 | 鳥屋野 | ○ | ○ |
| | 笹口 | ○ | ○ |
| | 女池 | | ○ |
| | 有明台 | ○ | ○ |
| | 南万代 | ○ | ○ |
| | 上山 | | ○ |
| | 桜が丘 | | ○ |
| | 紫竹山 | | ○ |
| | (曾野木) | | ○ |
| | (東曾野木) | | ○ |
| 西蒲 | (竹尾) | | ○ |
| | 丸山 | | |
| | 大淵 | | |
| | 曾野木 | ○ | ○ |
| | 両川 | | |
| | 東曾野木 | | ○ |
| | 横越 | | |
| | 亀田 | | |
| | 早通 | | ○ |
| | 亀田東 | | |
| 西 | 亀田西 | | |
| | 小針 | | ○ |
| | 新通 | | ○ |
| | 内野 | ○ | ○ |
| | 木山 | | ○ |
| | 赤塚 | | |
| | 小瀬 | | ○ |
| | 笠木 | ○ | ○ |
| | 青山 | ○ | ○ |
| | 真砂 | ○ | ○ |
| 西 | 五十嵐 | ○ | ○ |
| | 坂井輪 | | ○ |
| | 坂井東 | | ○ |
| | 西内野 | | ○ |
| | 東青山 | ○ | ○ |
| | 大野 | | ○ |
| | 黒崎南 | | ○ |
| | 山田 | | ○ |
| | 立仏 | | ○ |
| | 新通つばさ | | ○ |
| 西蒲 | 岩室 | ○ | ○ |
| | 和納 | | |
| | 曾根 | | |
| | 鎧郷 | | |
| | 升潟 | ○ | ○ |
| | 潟東 | | ○ |
| | 中之口東 | | |
| | 中之口西 | | |
| | 越前 | ○ | ○ |
| | 松野尾 | | |
| 江南 | 巻南 | | |
| | 漆山 | | |
| | 巻北 | | |
| | | | |



津波警報、大津波警報発表時の避難指示対象地域(町名)はこちらから確認できます。